

I 事業報告

1. 総会・理事会

(1) 第23回通常総会

- ・日 時 平成25年5月30日(木) 14:00~15:00
- ・場 所 ホテル アジュール竹芝 東京都港区海岸
- ・議決事項
 - 第1号議案 平成24年度事業報告及び決算報告に関する件
 - 第2号議案 平成25年度事業計画及び収支予算に関する件
 - 第3号議案 会費徴収規程の変更に関する件
 - 第4号議案 当局への要望に関する件
 - 第5号議案 役員の補欠選任に関する件

(2) 第51回理事会

- ・日 時：平成25年5月30日(木) 12:30~13:50
- ・場 所：ホテル アジュール竹芝 東京都港区海岸
- ・議決事項
 - 第1号議案 平成24年度事業報告及び決算報告に関する件
 - 第2号議案 平成25年度事業計画及び収支予算に関する件
 - 第3号議案 会費徴収規程の変更に関する件
 - 第4号議案 当局への要望に関する件
 - 第5号議案 役員の補欠選任に関する件
 - 第6号議案 副会長の選任に関する件
 - 第7号議案 会員の入会に関する件

(3) 第52回理事会

- ・日 時：平成26年3月4日(火) 12:00~14:00
- ・場 所：ホテル アジュール竹芝 東京都港区海岸
- ・議決事項
 - 第1号議案 平成26年度暫定予算に関する件(定款第36条3項)
 - 第2号議案 会員入会の件(定款第6条2項)
 - 第3号議案 定時総会の開催の件(定款第14条)
 - 第4号議案 役員候補者選考委員会の件

2. ウォーターフロント開発・振興支援業務

(1) ウォーターフロント振興支援(助成)事業の実施

1) 本年度は下記の事業について助成した。

《豊かなウォーターフロント形成支援事業》

- ① 新潟東港
聖籠町地域活性化事業—聖籠マリンフェスティバル 申請者 聖籠町
- ② 三河港
蒲郡みなとフェスティバル 申請者 蒲郡市

《みなとまちづくりマイスター派遣支援事業》

① 鹿児島港

「外から見た鹿児島」講演会 申請者 NPO 法人ゆめみなと鹿児島
講師：島 康子（みなとまちづくりマイスター）

2) 平成26年度「ウォーターフロント振興支援事業」の決定

平成26年1月16日に開催された選定委員会の選考に基づき、次の3件を決定した。

《豊かなウォーターフロント形成支援事業》

① 館山港

後継者育成支援を目的とするすウミホテル観察会の開催 申請者 館山市

② 敦賀港

敦賀港フェリー祭り2014（仮称） 申請者 敦賀市

③ 瀬戸田港

瀬戸内しまなみ海道クルージング体験イン尾道 申請者 尾道市

決定に先立ちウォーターフロント振興支援事業選定委員会が開催された。

- ・日 時：平成26年1月16日（金） 10：00～12：00
- ・場 所：一般社団法人ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦
- ・委 員：（五十音順、敬称略）
 - 佐藤 成美 横浜港埠頭株式会社 常務取締役（委員長）
 - 佐藤 浩孝 株式会社NIPPO 執行役員
 - 高田 昌行 国土交通省 港湾局 産業港湾課長
 - 原 重一 観光開発プロデューサー
 - 廻 洋子 淑徳大学 経営学部 学部長教授
 - 横内 憲久 日本大学 理工学部 まちづくり工学科 学科長教授

(2) 「みなとオアシス全国協議会」の運営

- 1) 総 会 平成25年8月23日（金） トップス ビッツホール 大分県大分市生石
- 2) 理事会 平成25年8月23日（金） トップス ビッツホール 大分県大分市生石
- 3) その他
 - ・メールマガジン「みなとオアシス便り」を毎月1回配信
 - ・「港弁」と「Sea級グルメ」の展開

(3) 「みなとオアシスSea級グルメ」全国大会の開催

平成25年度は次の2か所で全国大会を開催した。

- 1) 第3回みなとオアシスSea級グルメ全国大会 in 苫小牧
 - ・日 程：平成25年7月13日（土）～14日（日）
 - ・場 所：苫小牧港西港区キラキラ公園
 - 14オアシスが出店、応援参加として釧路、かんたん港園、地元苫小牧。
- 2) 第4回みなとオアシスSea級グルメ全国大会 in OITA
 - ・日 程：平成25年8月24日（土）～25日（日）
 - ・場 所：大分港西大分地区かんたん港園
 - 15オアシスが出店、特別参加としてオール北海道。

(4) 港弁の展開

- 1) 平成 26 年 3 月 6 日、「ホッキ大漁弁当」の申請があり、3 月 14 日審査委員会が開かれ、3 月 19 日付で認定した。
- 2) 港弁の認定については当協会において行い、認定の可否については、みなとオアシス『八幡浜みなと』に設置されている『港弁認定審査会』が審査することとし、平成 25 年 12 月 13 日、港弁の「審査基準」及び「審査方法」を関係各所にメールにて通知した。

(5) 「みなとの博物館ネットワーク・フォーラム」の運営

- 1) 総 会 平成 25 年 6 月 18 日 (火) フェルケール博物館 静岡県清水市
 - ・議案審議
 - ・報告事項
 - ・オーシャンプリンセス号による清水港内視察研修
 - ・施設見学 フェルケール博物館
 - ・交流会 ミクニ シミズ
- 2) みなとの博物館シンポジウム
テーマ「いま、みなとの博物館を考える」
 - ・日 時：平成 25 年 4 月 12 日 (金) 14:00 ~ 19:30
 - ・場 所：ホテルアジュール竹芝 東京都港区海岸
 - ・基調講演
「なにわの海の時空館のケースに見る博物館のこれから」
石浜 紅子 (元 なにわの海の時空館 館長)
「がんばれ! 日本の博物館」
半田 昌之 (一般財団法人日本博物館協会 専務理事)
 - ・講師を囲んで意見交換会
 - ・交流会
- 3) 役員会 平成 26 年 2 月 19 日 (水) 一般社団法人ウォーターフロント協会
- 4) 企画委員会
 - 第 1 回 平成 25 年 7 月 4 日 (木) 一般社団法人ウォーターフロント協会
 - 第 2 回 平成 25 年 10 月 10 日 (木) 一般社団法人ウォーターフロント協会
 - 第 3 回 平成 26 年 3 月 7 日 (金) 一般社団法人ウォーターフロント協会
- 5) 主な事業
 - ・会報 No. 9 発行
 - ・メールマガジン「みなとの博物館情報」を平成 22 年 9 月より毎月 1 回配信
 - ・助成事業
平成 25 年 12 月 17 日 (火) に開催された助成事業審査委員会において
平成 26 年度の助成館 4 館と助成金額を決定
 - ・スキルアップ交流会
平成 25 年 12 月 11 日 (水) ~12 日 (木)
「せんぐう館」等伊勢神宮関連施設にて実施
- 6) その他
 - ・「今月の逸品」を毎月 1 回メールマガジン及びホームページに掲載。

4月	vol.18	石川県銭屋五兵衛記念館	銭五（銭屋五兵衛）家旧蔵仏壇
5月	vol.19	海とくらしの史料館	巨大マンボウ『チョボリン』
6月	vol.20	みくに龍翔館	エッセルの日本回想録
7月	vol.21	道の駅「開国下田みなと」	秀吉の小田原攻めと下田城の模型
8月	vol.22	物流博物館	菱垣船并ニ渡海之図
9月	vol.23	四日市港ポートビル「うみてらす14」	地上90mからの展望
10月	vol.24	神戸大学海事博物館	千石船の舵用材(実物)
11月	vol.25	瀬戸内海歴史民俗資料館	垣立の型板
12月	vol.26	琴平海洋博物館（海の科学館）	西洋軍艦構造分解図説と海岸備要
1月	vol.27	関門海峡ミュージアム	海峡アトリウム
2月	vol.28	博多港ベイサイドミュージアム	コンテナクレーン体験ブース
3月	vol.29	新上五島町鯨賓館ミュージアム	セミ鯨のヒゲ板を使った応接セット

(6) 国、関係団体への要望活動

当協会の活動への支援等について、国土交通省に対し2回に分けて要望活動を行った。

1) 第1回目：・日 時：平成25年9月20日

・要望先：国土交通省港湾局

山縣 宣彦 港湾局長
高田 昌行 産業港湾課長
津田 修一 海洋・環境課長

・要望内容：・みなとまちづくりに関する活動への支援
・官民の適切な役割分担に基づく官民連携事業の推進
・ウォーターフロントの復旧・復興に係る支援
・みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの活動に対する支援の継続

2) 第2回目：・日 時：平成25年11月19日

・要望先：国土交通省港湾局

大脇 崇 大臣官房技術参事官
下司 弘之 技術企画課長

・要望内容：「汚濁防止膜再利用カーテン引張強度証明制度」の創設について

3. ウォーターフロント啓発普及事業

(1) 「みなとまちづくりマイスター」の認定

1) 平成25年度『みなとまちづくりマイスター』の認定

平成25年度「みなとまちづくりマイスター」として次の12名を平成25年7月15日「海の日」付けで認定した。なお、認定された『みなとまちづくりマイスター』については、「ウォーターフロント開発 NO.31」にて紹介を行った。

*竹内 珠己	みなとまちづくり女性ネットワークオホーツク 代表
白川 皓一	NPO法人羅針盤 理事長
*立野 了子	みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭 代表
*若井 敬一郎	公益社団法人青森観光コンベンション協会 会長
椛沢 孝子	八戸みなとまちづくり市民フォーラム 代表

鈴木 泰弘	小名浜まちづくり市民会議 副会長
小島 富美子	NPO法人 いがた湊あねさま倶楽部 代表
村上 和子	NPO法人神戸グランドアンカー 理事長
*田中 丈裕	NPO法人里海づくり研究会議 理事・事務局長
長澤 宏昭	NPO法人せとだ港房 理事長
三浦 薫也	土佐久礼みなと夢の市実行委員会 会長
大谷 鮎子	NPO法人九州キラキラみなとネットワーク 理事長

(※ 本年度新規認定者)

今年新たに認定された『みなとまちづくりマイスター』は、8月7日、国土交通省港湾局長より表彰された。若井氏は欠席のため、後日国土交通省青森港湾事務所表彰状が授与された。

※今回の認定により、全国の『みなとまちづくりマイスター』は総計39名となった。

なお、認定に先立ち『みなとまちづくりマイスター』選定委員会が開催された。

- ・日 時：平成25年6月20日(木) 15:00~17:00
- ・場 所：一般社団法人ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦
- ・委 員： (五十音順、敬称略)
 - 佐藤 成美 横浜港埠頭株式会社 常務取締役
 - 佐藤 浩孝 株式会社NIPPO 執行役員
 - 高田 昌行 国土交通省 港湾局 産業港湾課長
 - (代理出席) 佐藤 匡之 港湾局 産業港湾課 専門官
 - 原 重一 観光開発プロデューサー
 - 廻 洋子 淑徳大学 経営学部 学部長教授
 - 横内 憲久 日本大学 理工学部 まちづくり工学科 学科長教授 (委員長)

2) 『みなとまちづくりマイスター』認定記念シンポジウム

これまでに認定された『みなとまちづくりマイスター』の相互交流・意見交換・情報発信のため、全国交流会を行った。

なお、交流会の内容は、メルマガ「みなとまちづくり通信」(No.93~No.94)にて配信すると共に、「ウォーターフロント開発NO.31」にて報告した。

- ・日 時：平成25年8月6日(火) 16:00~17:50
- ・場 所：ホテル アジュール竹芝 14階 天平の間 東京都港区海岸
- ・テーマ：「これからのみなとまちづくり」

○ パネラー

竹内 珠己	紋別港	みなとまちづくり女性ネットワークオホーツク 代表
本間 弘人	釧路港	釧路商工会議所青年部 総務広報渉外委員会 委員長
立野 了子	室蘭港	みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭 代表
小島 富美子	新潟港	NPO法人 いがた湊あねさま倶楽部 代表
中川 庄嗣	衣浦港	市民ボランティア団体 渡し場かもめ会 相談役
田村 伴次	名古屋港	NPO法人伊勢湾フォーラム 相談役
田中 丈裕	水島・東備港	NPO法人里海づくり研究会議 理事・事務局長
三浦 薫也	久礼港	土佐久礼みなと夢の市実行委員会 会長

○ コーディネーター

橋間 元徳 一般社団法人ウォーターフロント協会 専務理事
認定記念シンポジウムの概要は「みなとまちづくり通信」No.93～No.94 に掲載

3) 東北地区みなとまちづくりマイスター意見交換会

- ・日 時 : 平成 26 年 3 月 10 日 (月) 13 : 30～17 : 50
- ・場 所 : 東北地方整備局 港湾空港部 CD会議室 仙台市青葉区花京院
- ・テーマ : 震災復興とみなとまちづくり
みなとまちづくりマイスターの活動報告等

○出席者

島 康子	大間港	大間町まちおこしゲリラ集団「あおぞら組」	組長
若井 敬一郎	青森港	公益社団法人青森観光コンベンション協会	会長
町田 直子	八戸港	NPO 法人 ACTY (アクティ)	理事長
鈴木 泰弘	小名浜港	小名浜まちづくり市民会議	副会長
安部 義孝	小名浜港	アクアマリンふくしま	館長
諸星 一信	国土交通省	東北地方整備局	港湾空港部長
青山 紘悦	〃	〃	港湾計画課長
押切 泰弘	〃	〃	港湾物流企画室長
八角 彰博	〃	〃	港湾物流企画 課長補佐
木村 政幸	〃	〃	港湾物流企画 係長
小林 祐太	〃	〃	港湾物流企画
川島 毅		一般社団法人ウォーターフロント協会	会長
橋間 元徳		一般社団法人ウォーターフロント協会	専務理事

なお、東北地方整備局のご配慮により、3月11日(火)仙台・石巻地区を視察した。

(2) みなとまちづくり研究会

[第11回研究会]

- ・日 時 : 平成 25 年 5 月 30 日 (水) 15 : 20～17 : 20
 - ・場 所 : ホテル アジュール竹芝 14階 天平の間 東京都港区海岸
「食とみなとまちづくり」大討論会－第2弾－
 - ・基調講演
信濃川の河口・港湾 みなとオアシス新潟「ピアB a n d a i」のご紹介
講師 万代にぎわい創造株式会社 取締役 北村 正美
 - ・講師を囲んで大討論会
- 交流会
研究会の概要は「みなとまちづくり通信」No. 91、92 に掲載

[第12回研究会]

- ・日 時 : 平成 25 年 7 月 12 日 (金) 15 : 20～17 : 00
- ・場 所 : グランドホテルニュー王子 苫小牧市表町
第一部 基調講演「港とまちづくり」
慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授
北海道大学大学院農学研究院客員教授 林 美香子
第二部 講師を囲んでディスカッション

コーディネーター：真田 仁 北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課長
交流会

研究会の概要は「みなとまちづくり通信」No. 92、93に掲載

〔第13回研究会〕

- ・日 時：平成25年8月23日(金)～24日(土)
- ・場 所：トップス ビッツホール 大分市生石
 - ・「みなとオアシス全国協議会」総会 8月23日(金)14:30～15:00
 - ・みなとオアシスの集い 8月23日(金)15:00～17:30
 - 基調講演1：みなとまちづくりの可能性
講師：姫野 由香 大分大学工学部 助教
 - 基調講演2：うみたまごと別府湾
講師：橋本 均 株式会社マリーンパレス代表取締役社長
 - 意見交換
コーディネーター：一般社団法人ウォーターフロント協会 専務理事 橋間 元徳
- 交流会
- ・現地視察 8月24日(土) 別府湾クルージング、高崎山自然動物公園
うみたまごと(大分マリーンパレス水族館)
研究会の概要は「みなとまちづくり通信」No. 93～94掲載

(3) 美しいみなとまちづくりシンポジウム、フォトコンテスト表彰式

- ・日 時：平成25年11月28日(木) 14:30～18:00
 - ・場 所：KKRホテル広島 2F 安芸の間 広島市中区東白島
 - ・私が好きなウォーターフロントフォトコンテスト表彰式
 - ・講演1「水の力」
講師：池田 明子 『山紫水明』一頼山陽の詩郷一の著者
 - ・講演II「瀬戸内海の魅力」
講師：藤田 武彦 元国土交通省技術総括審議官、元中国地方整備局長
 - ・パネルディスカッション
テーマ：『山紫水明』という言葉は瀬戸内海で生まれた
コーディネーター：下山 克彦 中国新聞社 文化部長
パネリスト：仁田 一也 瀬戸内海汽船株式会社 会長
：竹鶴 壽夫 竹原頼山陽顕彰会 会長(竹鶴酒造の蔵元)
：石本 秀紀 一般社団法人広島県観光連盟 専務理事
：池田 明子 『山紫水明』一頼山陽の詩郷一の著者
- **パネルディスカッション概要は「みなとまちづくり通信」No. 98、99掲載**

(4) ウォーターフロント研究サロン

ウォーターフロント研究サロンとして、毎月1回、当協会事務所にて、知見ある講師による幅広いテーマでの講演及び討議を行った。
講演内容については、メールマガジン「WFニュース」で随時報告し、主要テーマについては「ウォーターフロント研究レポート」として発行した。

第51回 4月9日(月)

『那覇港をキラリと光る国際トランシップ港に』

鹿島建設株式会社 社友 橋川 隆

第52回 5月17日(金)

『我が国の領土・領海問題について』

衆議院議員 伊東良孝 政策担当秘書 繁本 護

第 53 回 6 月 4 日 (火)

『近年の少年非行の傾向など』

警視庁生活安全部 少年育成課 大森少年センター 警部補 清宮 多恵
心理技術主任 佐藤 弘道

第 54 回 7 月 9 日 (火)

『スペイン・ジブラルタルの海辺を巡って』

株式会社クリエイティブ 顧問 藤田 武彦

第 55 回 8 月 2 日 (火)

『ハーバープロムナードのデザイン

ーサンフランシスコ・ニューヨーク・ボストン・コペンハーゲンなどー』
日本大学理工学部 客員教授 新井 洋一

第 56 回 9 月 3 日 (火)

『遍路の道も一歩から (四国八十八箇所を巡って)』

大成建設株式会社 顧問 片桐 正彦

第 57 回 10 月 9 日 (水)

『海外港湾の最近の動向と大阪港における取組み』

大阪港埠頭株式会社 理事 篠原 正治

第 58 回 11 月 1 日 (金)

『日本人と道具』

株式会社アルティスタ人材開発研究所 代表 玄間 千映子

第 59 回 12 月 3 日 (火)

『私の国防論』

NPO 法人海ロマン 2 1 理事長 久田 安夫

第 60 回 1 月 15 日 (水)

『アドリア海を巡って』

当協会 会長 川島 毅

第 61 回 2 月 13 日 (木)

『災害から教訓を学ぶ難しさ』

株式会社エコー 取締役会長 加藤 一正

第 62 回 3 月 12 日 (水)

『真実の忠臣蔵』

一般財団法人中央義士会 理事 柿崎 輝彦

『南部坂雪の別れ』

講談師 若林 鶴雲

(5) ウォーターフロント環境研究会の開催

ウォーターフロント環境研究会に「海洋環境保全技術委員会」を設け、「汚濁防止膜再利用カーテン引張強度証明制度」を創設すべく研究を進めている。

平成 23 年度から 2 カ年計画で一般財団法人港湾空港総合技術センター (SCOPE) に依頼して「汚濁防止膜再利用カーテン引張強度証明基準作成検討委員会」を設置し、検討の結果を「汚濁防止膜技術資料 (案) (平成 25 年 9 月 一般財団法人港湾空港総合技術センター)」として取りまとめた。

< 技術資料検討会 >

第 1 回 ・ 日 時 : 平成 25 年 4 月 22 日 (水) 16 : 00 ~ 18 : 00

・ 場 所 : ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦

第 2 回 ・ 日 時 : 平成 25 年 7 月 17 日 (水) 17 : 00 ~ 18 : 00

・ 場 所 : ホテルアジュール竹芝 東京都港区海岸

- 第3回 ・日 時：平成25年8月5日（月）14：00～15：00
 ・場 所：一般財団法人港湾空港総合技術センター
 東京都千代田区霞が関

<汚濁防止膜カーテン使用履歴証明・引張強度認定制度 管理運営委員会>

- ・日 時：平成26年3月26日（水）14：00～16：00
 ・場 所：ホテルアジュール竹芝 東京都港区海岸

<汚濁防止膜カーテン使用履歴証明・引張強度認定制度 管理運営委員会名簿>

- 新井 洋一 NPO法人リサイクルソリューション 理事長（委員長）
 出口 一郎 大阪大学 名誉教授
 平石 哲也 京都大学防災研究所 教授
 長尾 毅 神戸大学都市安全研究センター 教授
 宮田 正史 国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾施設研究室長
 寺内 潔 一般社団法人日本埋立浚渫協会 第一調査研究部長
 数土 勉 一般財団法人港湾空港総合技術センター 研究主幹
 野澤 良一 国土交通省 港湾局 技術企画課 課長補佐
 福尾 原悟 国土交通省 港湾局 技術企画課 建設企画室 施工基準係長
 阿部 二郎 国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 港湾整備・補償課長
 松尾 認 東京都港湾局 港湾整備部 技術管理課長

(6) 機関誌の発行

ウォーターフロント開発に関する情報交換の促進を目的として、平成25年12月に機関誌「ウォーターフロント開発 No.31」を発行し、会員及び国の行政機関等に配布した。

(7) 出版事業の展開

- 1) ウォーターフロント研究レポート 2013 Autumn
 vol.44 「神戸港都心ウォーターフロント開発構想」
 神戸市みなと総局 技術部長 吉井 真
 vol.45 「マルセイユ・ジェノヴァ・ニース等を巡って」
 一般社団法人ウォーターフロント協会 会長 川島 毅
 vol.46 「真実の忠臣蔵」
 財団法人中央義士会 理事 柿崎 輝彦
 vol.47 「忙中閑あり～何とはなしに俳句づくり」
 NPO法人港湾保安対策機構 会長 木本 英明
 vol.48 「我が国の領土・領海問題について」
 衆議院議員 伊東良孝 政策担当秘書 繁本 護
 vol.49 「スペイン・ジブラルタルの海辺を巡って」
 株式会社クリエイティブ 顧問 藤田 武彦
 vol.50 「ハーバープロムナードのデザイン
 ーサンフランシスコ・ニューヨーク・ボストン・コペンハーゲンなどー」
 日本大学理工学部 客員教授 新井 洋一
 vol.51 「信濃川の河口・港湾 みなとオアシス新潟「ピア Bandai」のご紹介」
 万代にぎわい創造株式会社 取締役 北村 正美
 vol.52 「港とまちづくり」
 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授

北海道大学大学院農学研究科客員教授 林 美香子

- 2) ウォーターフロント研究レポート 2014 Spring
vol. 53 「遍路の道も一歩から (四国八十八箇所を巡って)」
大成建設株式会社 顧問 片桐 正彦
vol. 54 「海外コンテナ港湾の最近の動向と大阪港における取組み」
大阪港埠頭株式会社 理事 篠原 正治
vol. 55 「日本人と道具」
株式会社アルティスタ 人材開発研究所 代表 玄間 千映子
vol. 56 「私の国防論」
NPO 法人海ロマン 21 理事長 久田 安夫

(8) 「ウォーターフロントに関する商品・企画・アイデアの紹介」

豊かなウォーターフロント形成のため、以下の会員が有する商品・企画・アイデアを当協会ホームページで紹介している現在 3 社から 3 アイテムを紹介している。

- 海洋建設株式会社 「JF シェルナース」
<http://www.waterfront.or.jp/entry/kaiyoukensetu.png>
- りんかい日産建設株式会社 「浚渫底泥高圧脱水処理システム」
<http://www.waterfront.or.jp/entry/pfp.pdf>
- 五洋建設株式会社 「閉鎖性水域浄化システムうみすまし」
<http://www.waterfront.or.jp/entry/umisumasi.pdf>

(9) クルザーヨット「ユーホリアン」体験乗船

昨年一年間の体験乗船は 31 名。船の操船・メンテナンス等にボランティアクルー13名で対応。随時メルマガで支援の協力をお願いしている。

<ボランティアクルー名簿>

浦野 光央	江口 肇	鎌田 一郎	佐藤 孝夫
塩崎 正孝	武内 豊	橋間 元徳	橋本 光壽
福本 進	松田 賢	宮地 豊	山根 隆行
吉田 昌兼			

- ・特別企画「ユーホリアン」スローライフ&ハッピーアワー
日 時 平成 25 年 6 月 1 日 (土) 11:00~15:00
場 所 横浜ベイサイドマリーナ (横浜市金沢区白帆町)
体験乗船者、ボランティアクルー及び関係者により船上での Stay を楽しむ。

(10) メールマガジン、ホームページ等による情報発信及び情報交換。

- 1) 『WF ニュース』
協会創設以来、平成 26 年 3 月までに 284 号を配信。平成 20 年 10 月 221 号よりメールマガジンとして内容も一新、毎月 1 回配信している。
- 2) 『みなとまちづくり通信』
平成 20 年 7 月海の日に創刊号を配信、その後毎月 2 回のペースで配信し、平成 24 年 1 月から毎月 1 回配信している。平成 26 年 3 月までに 99 号を配信。
- 3) 『みなとオアシス便り』
平成 21 年 7 月海の日に創刊号を配信、その後毎月 1 回配信している。平成

26年3月までに54号を配信。

4) 『みなとの博物館情報』

平成22年9月に創刊号を配信、その後毎月1回配信している。平成26年3月までに43号を配信。

4. ウォーターフロント調査研究事業

(1) ウォーターフロント研究開発事業（公益目的事業）

1) 海外のウォーターフロント開発事例に関する情報収集

平成25年度は、海外事例として、ニューヨーク市のウォーターフロント再活性化計画について情報を収集し、機関誌「ウォーターフロント開発 No. 31」にて報告を行った。

2) 平成25年度ウォーターフロント開発状況海外調査

一般財団法人みなと総合研究財団と建設コンサルタンツ協会を中心とした調査に、当協会の川島会長が副団長として参加した。

日 程 平成25年9月4日～9月14日の11日間

訪問地 ヴェネツィア、ドゥブロブニク等

資 料 当協会機関誌「ウォーターフロント開発 NO. 31」に報告を掲載。

(2) ウォーターフロント開発調査事業（収益目的事業）

1) 受託調査

次の2件を受託し調査を行った。

① 港湾復旧に資する地域振興・再生のあり方に関する検討業務

(国土交通省東北地方整備局)

② 那覇港振興方策について

(株式会社レキオコンサルタント)